

連続講座『奥熊野に生きた女たち』

～苦難の中に凛々しく生きた故郷びと～

本講座は熊野でさまざまな時代を強く生き抜いた女性たちにスポットを当てました。講師は作家として活躍されている中田重顕さんです。中田さんは講座の開催に先立ち、こう語ります。

「中央を遠く離れた私たちの故郷、この奥熊野も歴史の歯車と無縁に生きることはできなかった。愛する者を失って悲しく、しかし不屈に生きた女たちの生きざまを振り返ってみたい。その時代を精一杯生き抜いた人たちの生を検証することこそ、明日を切り開くことにつながるのだから。」

時は経ち、21世紀となった今も女性たちは力強く生きています。生きる時代は違っても女性の不屈の心は不変です。この講座では、かつての女性たちの生への活力を感じていただき、熊野の忘れてはならない歴史の一端を学びます。

講師 中田重顕氏（三重県熊野市久生屋町）



1990年頃から小説の発表を始め、作家として活躍中。1992年に三重文学新人賞、2004年に第10回鳥羽マリン文学賞大賞、2005年に三銀ふるさと三重文化賞など、多数の賞を受賞。熊野市文化財保護専門員。みえ熊野学研究会運営委員

開催日時・各講座テーマ・内容

第一回 6月29日（日） 『隠れ切支丹娘と流れ谷の人々』

備前長崎から奥熊野に流されてきた32人の隠れ切支丹たち。その中の17歳の少女はどう生きたか。

（講座終了後、希望される方と一緒に熊野市五郷町の現地を訪れます。）

第二回 7月27日（日） 『油屋お紺とたくさんのお紺たち』

五郷町寺谷の植村屋敷から伊勢古市に売られていったお紺と、名前も墓も残らない無数のお紺たちの人生。

（講座終了後、希望される方と一緒に熊野市五郷町の現地を訪れます。）

第三回 8月24日（日） 『戦争の陰に生きた女たち』

愛する夫や息子を戦争で奪われた女たちの悲しみをお盆の月に振り返ります。

（愛する者を失いながら必死に生きた女たちの聞き書きを御浜町阿田和在住の阪本浩子さんに朗読していただきます。）

第四回 9月28日（日） 『大逆事件紀州組と遺された女たち』

明治四十四年、幸徳秋水の大逆事件と呼ばれる事件に冤罪によって連座した六人の紀州の人たちと、遺された女たちの悲しみを振り返ります。

（講座終了後、希望される方と一緒に紀宝町阪松原の現地を訪れます。）

- 毎月第四日曜日の午後 1 時 30 分から午後 3 時まで
- 現地訪問の際の移動は、各自の車等をお願いします。
- 各回ともパソコンによる映像と阪本浩子さんの朗読（テープないし生出演）が入ります。

場 所 紀南ツアーデザインセンター

募集人数

- 各講座 30 名（申し込み状況により増減しますのでご了解ください。）
- 各講座単位で参加のお申込を受け付けます。受付は先着順とさせていただきます。

お申し込み締め切り 6月10日（火）

参加費 各講座 1 回 300 円（講師料、資料代等実施経費の一部）
受講当日、受付でお支払い下さい。

◇お申込み方法

下記に必要事項を記入の上、ファックス、郵便または E-メールでお申込みください。

参加申込書			
FAX 0597-89-3210 紀南ツアーデザインセンター宛			
とっておきの熊野 心のふるさと探訪 連続講座『奥熊野に生きた女たち』 ～苦難の中に凛々しく生きた故郷びと～			
下記の通り参加を申し込みます。			
お名前			
ご住所	〒		
電話番号		FAX 番号	
携帯番号		Eメール	
参加したい講座に○を付けてください。			現地訪問
6月29日	第一回	『隠れ切支丹娘と流れ谷の人々』	
7月27日	第二回	『油屋お紺とたくさんのお紺たち』	
8月24日	第三回	『戦争の陰に生きた女たち』	なし
9月28日	第四回	『大逆事件紀州組と遺された女たち』	
*通信欄			